



北高だより 第1号(令和2年度)

兵庫県立神戸北高等学校
〒651-1332 神戸市北区唐櫃台2丁目 41-1
Tel 078-981-0131 Fax 078-981-0132
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kobekita-hs/>

転出された先生からのメッセージ

新型コロナウイルスによる臨時休業のため、誠に残念ではありますが離任式が中止になりました。
そこで、本校を離任された先生方から皆さんへメッセージをいただきましたので、ご紹介します。

○大橋 勇 教頭先生

「一日の価値は一緒」

二年間、大変お世話になりました。46 回生(現三年生)の皆さんの入学と同時に北高に赴任した私は、日々新たな気持ちで過ごせたことを思い出します。私にとっては15 年ぶりの高校勤めで教頭職、加齢も伴って、どのように高校生の皆さんと接していいのか、戸惑いの日々でもありました。

北高での私の一番の思い出は、45 回生(卒業生)の修学旅行で北海道に同行できたことです。一面の白銀と、学校では見られない皆さんの素敵な笑顔が印象的でした。反面、絶好の機会に皆さんとあまり話ができなかったことを心残りに思います。現任校では前轍を踏まぬよう、生徒の皆さんとたくさん話をしようと思っています。

休校が続く中、皆さんが来ない学校は何とも言えない寂しさがあります。皆さんもストレスが溜まっているのではないのでしょうか。私は、「一日の価値は自分がどんな環境に置かれていようと一緒」だと思っています。今日一日の価値を今まで以上に意識することで、この有事を乗り越えようと考えています。

最後になりましたが、逢友会・PTA 役員・保護者・地域の皆様、児童館・保育所・幼稚園・小学校・中学校の先生方、北高の職員の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。またお出会できる日を楽しみにしております。

○先生

神戸北高校の皆さん、休校が続いていますが元気に過ごしていますか。

この度は離任式が無くなり、皆さんと直接お別れができず残念でした。私から皆さんに言いたかったことを書きます。

まず、「言い訳をする人にならない」でください。失敗したとき、間違ったことをしてしまったとき、言い訳をして逃げるのではなく、自分の過ちを素直に認める人間になってください。自分の過ちを認めることで、次にどうしてそうなってしまったのか考え、失敗しないようにすることができ、成長できます。

2 つ目に「何事にも諦めない人」になってください。「どうせ無理」「やってもいっしょや」などと最初から諦めず、何事にもチャレンジしてください。行動を起こせば道は開けるかも知れません。一步を踏み出す勇気を持ってください。

3 つ目に「他人に信頼してもらえる人」になってください。日頃の生活を他人は見ています。言動、行動、服装、すべてあなたを構成する要素です。他人に信頼してもらえる行動を取っていますか？ 他人に信頼してもらえる人になってください。

最後に、「すべての人があなたの恩師」です。家族、仲のいい友達だけでなく、嫌な先輩、厳しい先生、すべてあなたの成長に必要な人たちです。視野を広く持ち、あなたに関わるすべての人に感謝して、自分を磨いてください。

神戸北高校で出会ったすべての人に感謝します。12 年間ありがとうございました。



○ 先生

みなさんお久しぶりです。新型コロナウイルスが世界中で猛威を振っている現在、世の中が自粛を余儀なくされています。各家庭においても影響は大小あると思いますが、どのようにお過ごしですか？

私は新天地で今しかできないことを探してワクワクしながら過ごしています。例えば、授業の改善や読書で新たな知識を得ること、学校内の清掃やグラウンドの設備改善などです。これらは決して人に強制されているものではありません。生徒のみなさんが気分良く前向きに学校生活を送ってくれればと思いながら行っています。「こんなときに…」と思いますか？むしろ「こんなときだからこそ!」だと思っています。もちろん神戸北高校の先生方もいろいろな取り組みをされています。いくつか気付くことができますか？

しかしながら、肝心なのはどう感じ、どう行動できるかということです。「何でこんなせなかかんねん」「無理や、ダルい、めんどくさい」と否定的になるのは簡単なことですが、それで状況が変化したり改善・成長することはありません。「こんなときだからこそ!」こう考えられる人の方が幸せだと思いますか？要は心持ち一つです。「どうせやるなら前向きに」これは45回生の生徒には常々伝え続けました。選択するのは自分です。誰のせいでもありません。縁があって出会ったみなさんが幸せな人生を歩んでいけることを心から願っています。ありがとうございました。

○ 先生

神戸北では7年間お世話になりました。ありがとうございました。7年間で様々な生徒と出会いました。大変なこともありましたが、神戸北の生徒の皆さんは授業も素直に聞いてくれましたし、分からないことがあれば、分かるまで頑張ってもらったという気概のある生徒にもたくさん出会えて良かったです。

高校生にもなると、自分の限界が見えてくる年齢でもあり、現実を見ながら将来を考えなければならぬ時期でもあると思います。私は教師になって13年目に入りますが、経験から生徒の成長の伸びしろがある程度予測できたりもします。しかし、神戸北では努力によってそれを覆すような生徒にもたくさん出会ってきました。そういった生徒に出会えた時は素直に嬉しかったです。神戸北の生徒の皆さんには、自分の可能性を信じて、自分には無理かと思えるような大きな目標があって

も、それを現実にする努力をして欲しいなと思います。結果だけ見たら、努力が無駄になることはあるでしょう。しかし、努力した過程というのは、形を変えて必ず生きていきます。様々なことに精一杯頑張って、多くの自分の可能性を見出してくださいね。

○ 先生

僕が高校1年生の時に、阪神大震災は起こりました。自宅は全壊し、クラスメートが亡くなり、通っていた学校の校舎も壊れたり避難所になったりしました。数ヶ月は学校が休校で、再開してからも卒業するまでプレハブの仮設校舎で過ごすことになりました。両親や学校の先生など周りの大人が生活を立て直そうと一生懸命な姿を見て、あたりまえのように思っていた自分の生活が多くの人に支えられているのだということを実感しました。支えてくれている人に感謝し、もっと丁寧に高校生活を過ごそうと思いました。

今の新型コロナウイルスの状況は、社会や経済が大きなダメージを受けた点で震災と共通しています。ウイルス感染が終息した後も大人は社会や経済の立て直しに大変になります。高校生のみんなは自分にできることをやるしかありません。勉強や読書やスポーツなど自分を磨くことをして下さい。

卓球部のみんなへ。異動することを言い出しにくかったのと、3月の部活動が自粛になったことで、みんなにとっては突然の顧問の変更になってしまいましたね。ごめんなさい。毎日の練習後のミーティングや試合の合間のやり取りはとても楽しくて、僕にとっては良い思い出です。これからのみんなの活躍を祈っています。



○ 先生

予言の自己成就、という社会心理学の用語があります。予言というのは自ずと成就へと向かっていくことがあるみたいです。もちろん、仕組みはありますが。例えば、ある人が「近々、A銀行が倒産する」と予言をしたとします。この予言は人々に不安をあおり、人々はA銀行の預金を下ろしていく。みんなの預金で経営している銀行は、それがなくなると経営が成り立たず、A銀行はつぶれてしまう。結果として予言通りになってしまふものだそうです。

言葉には力があります。周りの人を動かし、自身の未来を変えていく力が。

さて、3年生諸君。これから進路に向き合う君たちに実現のためのヒントを。

目標を宣言し続けてください。「必ず〇〇に合格する!」「絶対に〇〇になる夢を諦めない!」その宣言が、自分や周りを動かすのです。そしてもう一つ、協力してくれる人を見つけてください。先生を、友人を、家族を味方につけて戦うのです。何かを成し遂げる人は、あらゆるものを自分の力に変えていく人です。

でも、そう簡単に味方についてくれるのでしょうか。大丈夫。目標に向かって努力をし続けてさえいれば、きっとだれかが手を差し伸べてくれるはず。自分や周りの人たちの力を信じて、今は懸命に頑張ってください。

最後に。僕は、例えば北高祭の合唱の直前の舞台裏や、体育大会の大縄跳びの待機中とかに君たちがちょっとだけ見せた、「少しやってやろう」みたいな顔つきがとても好きです。何かを起こしてくれそうだと期待が膨らんでいくのです。今後近い将来に、君たちが「やってやる」と野心をもって、様々な場所で活躍することを楽しみにしています。

○ 先生

この度、6年間お世話になった神戸北高校を去ることになりました保健体育科の 先生です。

6年間でいつも感じていたことは、神戸北高校の生徒は本当に素直で真面目な子が多いことです。これからの時代、特に学力だけでなく人間性が問われることになってきます。みなさんの良いところを伸ばし、『素直』な気持ちで何事にも『謙虚』に頑張ってください。応援しています!

最後に女子ソフトテニス部のみなさん、ほとんどの日を共にし、スポーツマンとして厳しいことや細かいことを言い続けてもよく最後まで頑張ってくれました。この先、これらの経験が少しでも生きてくれれば幸いです。保護者の方におかれましても活動に多大なるご理解とご協力を頂きまして本当にありがとうございました。新3年生5人にとっての最後のインターハイもなくなってしまい、この先どうなるのかまだわかりませんがこれまでの取り組みや約束を忘れずに次のステップに生かして下さい!

6年間本当にありがとうございました。

では、またどこかで 先生

○ 先生

生徒のみなさん、こんにちは。

今回の新型コロナウイルス感染の拡大により、色々な影響が出ていますね。

4月の離任式で、みんなに会えることを楽しみにしていましたが、仕方ないですね。

私が、神戸北高校で過ごした12年間は、正直、大変なことが多かった気がします。

でも、思い出すのは、生徒のみんなと話したことや一緒に学校行事をしたこと部活動や授業で一緒に過ごした時間など楽しいことばかりです。今も、北高の子、どうしてるかな?と思うことがあります。

生徒のみんなは、私のことをロウるさい先生やと思っていたはずです。まあ、その通りですが…。しかし、社会に出るといちいち注意をしたりする人は、ほとんどいなくなります。ということは、自分で自分を律しないといけないということです。なかなか難しいことです。だから、今、高校の時代にその力を少しでもつけてもらいたいと思います。

“人として賢くなれ!” 私が、神戸北高校でずっと言い続けてきた言葉です。思いやり、素直さ、気配りなど“人として”当たり前のことが当たり前にできる人になって下さい。

みんなが、社会で生き生きと活躍する姿を期待しています。自分を大切に。



○ 先生

みなさん、こんにちは。お久しぶりです。お元気ですか。

本来でしたら、神戸北高校の体育館のステージでみなさんに離任の挨拶をするところですが、新型コロナウイルスの感染拡大により、書面での挨拶という形になってしまいました。

私は神戸北高校で7年間お世話になりましたが、より近い距離で生徒と接することができる学年に所属し、クラス担任として過ごしました。部活動は主に茶華道部担当でした。

それでは、私からみなさんに次のメッセージを送りたいと思います。

どのような苦境にあっても、くじけることなく、あきらめることなく、向上心をもって、これからの人生を生き抜いてください。それから、自分を大切にしてください。それができる人は、自分以外のすべてのものに対しても、思いやりの心を持って、大切にできる人だと思いますから。

Where there is a will, there is a way.

(決意あるところ、道あり。)

みなさんの健康と夢の実現を祈念して、離任の挨拶いたします。

○ 先生

47回生の学年付として1年間勤務させていただいたです。新型コロナウイルスの関係で、直接顔を見せれず離任することを残念に思います。このような時期でも、考えて責任感を持ち行動できる北高生であってください。

1年間と短い間でしたが、教師1年目として様々な経験やみんなとの思い出がたくさんあります。特に校門での挨拶運動と遅刻指導は私の最初の仕事であり、みんなとの大切な時間でした。最初の頃は、「あの先生誰？」という声も聞こえ、不安でした。しかし、徐々に笑顔で挨拶してくれたり、話しかけてくれたりして、とても楽しい時間を過ごせました。同時に、みんなのおかげで教師として大きく成長できたと感じました。ありがとうございました。

令和2年になり、学年も一つ上がります。46回生は1番上の学年になり、47回生は先輩という立場になります。48回生と神戸北高校を引っ張っていける学年になっていって下さい。これからの神戸北高校の成長を見守っています。

最後にサッカー部のみんな、君達とは本当に濃い時間を過ごしましたね。自身の立場を再認識し、サッカーも人としても大

きく成長できる部活動にし続けてください。こんな先生を受け入れてありがとうございました。

1年間でしたが、関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。ここでの経験を糧に成長していきたいと思えます。

○ 先生

「人間は考える葦(あし)である」という言葉を知っていますか？

科学者であり哲学者でもあるパスカルの有名な言葉です。いや、そもそも「葦」って何？という人も多いと思います。葦というのは、背の高いススキのような植物のことで、川辺に生えていることが多いです。少し風が吹いただけでもヨタヨタしてしまう頼りない草です。どっしりした大きな木とは大違いですね。大木はちょっとやそとの風ではビクともしません。でも、そんな強い大木でも、大きな台風が来たら倒れてしまうことがあります。最近の災害をみると実感することです。葦はヨタヨタすることはあっても、倒れて切れてしまうことはありません。大木のような強さはないけれど、強い風になびくしなやかさがあるからです。

皆さんには葦のようなしなやかさを持ってほしいです。葦のような柔軟性を持って、自分以外の人の考えや生き方に触れて下さい。学校というのは、勉強をするだけの場所ではありません。他人と接することで自分自身と向き合うための場所でもあります。色々な考え方や生き方に触れ、良いものは吸収し、自分に合わないものは拒むのではなく、それはそれで尊重する。どんなことでもよく考えて、そこから学んでください。北高に勤めていた5年間で、「もっとメンタルが強くなりたい」という話をよく聞きましたが、小さなことでよくよしたり、悩んだり、くじけそうになってもいいんです。たくさん考えて、そこからたくさんのことを学んで下さい。ぽっきりと折れてしまわないようにしなやかで柔らかい心で。



○ 先生

神戸北高校のみなさん、お久しぶりです。1年間という短い期間でしたが、元気で人懐っこいみなさんに関わることができて、とても楽しく充実した1年になりました。

家庭科の選択授業や自習の際に関わった子、元1年1組、女子ソフトテニス部、廊下や図書室でいろいろな話をしてくれた子たちなど、今でも楽しかった日々を思い返しては、これからの頑張る糧となっています。

私は今、の中学校で、みなさんと同じ年の頃から夢見ていた“保健室の先生になる”という夢を叶えました。新型コロナウイルスの影響もあり、少し慌ただしくもやりがいを感じながら過ごしています。みなさんの中にも、夢がある人やまだよく分からない人がいると思います。焦らなくて大丈夫です。ゆっくりでいいので、『自分と向き合う時間』を作ってみてください。どんな自分になりたいのか、何を大切に生きていきたいのか、何となくでいいです。自分の将来について考える時間をもって、少しずつ自分のペースで成長していったらいいな、と思います。遠くからですが応援しています。ありがとうございました。

○ さん

生徒の皆さん、私は3年間事務室でお世話になりましたと申します。

皆さんは直接私と色々話をしたりすることはなかったかもしれませんが、この神戸北高校で皆さんができるだけ不自由なく高校生活を過ごすことができるように、できる限り尽力してきました。

それを踏まえて皆さんにお伝えしたいのは、「知らないところで支えてくれる人はどんな人にもいる」と言うことです。皆さんは、保護者の方や先生方、そして友達などたくさんの方に関わり、支えられて自分が生きているんだということは考えていると思います。しかし、直接自分が面識を持っている人だけでなく自分から見えないところでも多くの人が自分たちの環境を整えるために尽力しているのです。

自分たちの目に見えることだけでなく、目に見えないところで自分を支えてくれている人は誰にとってもたくさんいます。今は非常に困難な時代となっていますし、今後より人生の選択が難しくなる場面がやってくることもあると思います。その時に、自分が知らないところで支えてくれる人たちのことを少し

でも考え、優しい気持ちを持つことができればきっと心が豊かになると思っています。

今まで本当にありがとうございました。

○ さん

今思うと、13年間自由に仕事をさせてもらい、校長先生、教頭先生、全先生方、事務室の皆様にはご迷惑をお掛けし、申し訳なく思っています。

生徒達にも色々と手伝ってもらい、本当に心やさしい生徒が多く、うれしく思います。

新型コロナで今大変な時期ですがどうか皆様で力を合わせて乗り切ってください。

本当に北高には感謝しています。

ありがとうございました。

【転出された先生方(一覧)】

教頭	大橋 勇 先生	西宮市立西宮高校へ
主幹教諭	先生	高校へ
教諭	先生	高校へ
教諭	先生	高校へ
教諭	先生	高校へ
教諭	先生	高校へ
教諭	先生	高校へ
教諭	先生	学校へ
教諭	先生	高校へ
教諭	先生	
臨時講師	先生	高校へ
臨時講師(養護)	先生	学校へ
臨時実習助手	先生	学校へ
事務職員	さん	高校へ
校務員	さん	高校へ

大変お世話になり、ありがとうございました！

